

平成27年度 うらら多磨 事業報告

I 概要

住宅入居者は12名中11名が介護保険サービスを利用。入居者の突発的な介護や緊急対応など併設の訪問介護事業所の利用者も増え、施設機能も十分に発揮し、入居者が安心できる環境を確保した。なお、12月、府中市から訪問介護事業への実地検査があったが特段の指摘もなく終了した

II 府中市高齢者住宅うらら多磨（単身戸数13戸）

高齢者住宅稼働96.5%。入居2名（在宅、老人保健施設各1名）、退居1名（特養入所）。利用者の虚弱化に伴い介護保険サービス等の利用が増えた（訪問介護11名、通所10名、訪問看護1名、短期入所1名、訪問診療1名、福祉用具6名）。毎月の入居者懇談会では少しずつ意見が出始めた。コーディネーター会議（毎月開催）で入居者の状況把握・共有及び研修、入居者・職員合同での防災訓練、ナースコール操作対応訓練を行った。1月に恒例の餅つきを行い、隣接のやまびこ保育園及び多磨町会の皆さんと交流した。

*入居者の状況（平成28年3月31日現在）（単位人）

	自立	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3以上	合計	生保受給者
男	0	0	0	0	1	1	2	1
女	0	1	1	7	1	0	10	5
計	0	1	1	7	2	1	12	6

III 訪問介護（うらら多磨ホームヘルプサービス）

利用者の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、利用者個々の身体状況や、入浴・排泄・食事等の援助を行い、住み慣れた地域での充実した生活を支えることを念頭にサービスを提供すると同時に、介護する家族の環境や身体状況等をも考慮しながら支援に努めた。

又うらら多磨高齢者住宅に居住している利用者の相談や支援にも努めた。

1 平成27年度事業計画重点目標の取り組み報告・評価

(1) 利用者のサービスの充実

定期的に利用者宅を訪問し、アセスメント、モニタリング等を介護計画書に反映させるとともに、手順書の見直しを随時行い、業務の円滑化に努めた。

(2) 職員の育成

登録ヘルパー会議・実技講習を実施し、質の向上を図ることができた。

(3) 関係機関との連携

訪問介護連絡会・うらら多磨・包括支援センター・他関連機関の連携を密に行い業務を円滑に行った。

(4) 予防訪問介護の取り組みと介護サービスの提供

3か月の評価、アセスメント、モニタリングを行い適切なサービスを提供した。

*平成27年度実績

月	実人数		身体介護型		身体生活		生活援助		介護予防	
	要介護	予防	回数	時間	回数	時間	回数	時間	回数	時間
4	24	4	205	146	50	70	58	58	17	16
5	23	3	229	157	48	70	66	65	11	8
6	21	4	214	146	51	76	47	47	16	16
7	26	7	226	157	67	94	48	48	26	21
8	25	6	211	145	55	81	42	42	25	20
9	27	6	212	148	59	82	42	42	26	20
10	27	6	208	149	68	95	42	40	21	18
11	25	6	149	114	73	98	39	36	24	21
12	25	6	163	125	90	110	37	35	27	21
1	24	6	126	103	93	113	33	29	23	18
2	23	6	128	101	89	113	36	32	24	20
3	22	6	130	202	73	100	34	29	28	22
合計	265	66	2201	1839	816	1102	525	503	268	221